

午後7時00分開会

第5回トップアスリートのまち・北区推進協議会

令和7年7月8日

【齊藤座長】

まだ、お集まりでない方もいらっしゃると思いますが時間になりましたので、始めたいと思います。それではただいまから第5回トップアスリートのまち・北区推進協議会を開催したいと思います。

本日お忙しい中また暑い中お集まりいただきまして、本当にありがとうございます。この協議会の座長を務めております東洋大学の齊藤でございます。よろしくお願いいたします。

中身に入る前にまず始めに会議の進行について私のほうから説明させていただきます。本日の会議につきましては議事録作成のため、音声を録音させていただきます。ですので発言の際には事務局がマイクをお持ちいたしますので、それをご使用願います。また、会議の活動記録作成のため会議風景の写真を撮影させていただくということをお許しいただきたいと思います。

なお、この会議は公開の開催になりますので傍聴希望される方が会場に入りますとともに、議事録を北区ホームページにて公開をいたします。あらかじめご了承ください。ただければというふうに思います。よろしくお願いいたします。

では、まず最初に本日の資料について事務局の方からご説明願います。

【事務局】

それでは事務局から資料の確認をさせていただきます。私、スポーツ推進課トップアスリートのまち推進係長の飯田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。そうしましたら資料の確認になりますが、まず次第が1枚目にございまして、2枚目に構成員名簿。3枚目が席次表でございます。4枚目以降が、まずホッチキスどめの資料1、1枚ペラの資料2、それ以降がチラシ類になっておりまして、デフリンピック関係のチラシが2枚。そのあとにNTCイースト見学ツアーチラシが2枚。そのあとに、コミスポたきのがわ様のチラシが1枚の計5枚となっております。そのチラシの後ろにスポーツ推進計画の関係資料がございます。まずホッチキスどめになっている東京都北区スポーツ推進計画第1章から第3章、要点まとめ。次が、A3判のカラーの印刷になっている、北区スポーツ推進計画施策体系図、これが2枚。最後に、こちらもカラーのA3版の施策体系図ということになっております。またその他に、今年開催されるデフリンピックのピンバッチ、机上に配付させてい

ただいております。前回協議会でも配付させていただいたのですが、新しく委員になられた方もいらっしゃいますので、改めてお配りをさせていただきました。お配りした資料は以上になります。

#### 【齊藤座長】

はい。ありがとうございます。皆さんお手元大丈夫でしょうか。

では、議題に入る前に、私のほうから一言だけごあいさつ申し上げますが、いや本当暑いですね。皆さんスポーツ等々やる中でいろいろ熱中症の問題とかいろいろ大変なことだろうと思いますが、気をつけてやっていただきたいなというふうに思います。

では、中身に入る前にまずですね、副座長なんですけれども、今回新たに北区町会自治会連合会からですね、下山豊様をお願いすることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

続いて人事異動などに伴いまして新たに委員となられた皆さんをご紹介したいと思います。

皆さん名簿が手元にあるかと思imasuので名簿を見ながら、確認いただければと思いますが、まず名簿の 11 番、総合型地域スポーツクラブれっど★しゃっふる・内山様です。本日は代理で難波様がお出席いただいております。よろしくどうぞ。

続きまして 15 番、北区町会自治会連合会・下山様です。よろしくお願ひします。

続いて 22 番になります。北区立小学校PTA連合会・長谷川様です。よろしくお願ひいたします。

引き続き 23 番になります。北区立中学校PTA連合会・西山様です。本日は代理で早川様がお出席です。どうぞよろしくお願ひいたします。

今回の北区スポーツ大使である、宇山賢さんにもご同席いただいております。ありがとうございます。

それでは新しく委員になられた方もいらっしゃいますので、顔合わせということで、皆様から一言ですねご挨拶をちょうだいしたいと思いますので、まずは副座長ですね、下山委員さんから反時計回りこういう形で回ってですね、一言ずつごあいさついただければと思います。よろしくどうぞ。

#### 【下山副座長】

ご紹介いただきました、北区町会自治会連合会の会長の下山です。私はスポーツというと、小さいときから高校まで野球一筋で、それ以外スポーツというスポーツは高校のときにラグビーを部活でやったぐらいで、ほとんどそれ以外にスポーツやったことないで見るだけのスポーツになっておりましたんで、このたび、スポーツ推進課から推薦されて委員になったということで、これから皆様方と一緒に北

区の子供たちの、スポーツの方に、自分のできる限り仕事をさせていただきたいと思っていますので、今後ともよろしく願いいたします。

#### 【宇山委員】

皆さんこんばんは。スポーツ大使を拝命しております宇山と申します。競技の方はフェンシングとなります。

今、社会人大学院を卒業しまして、国立の研究開発法人のほうで研究しつつ、次の引退後のキャリアというものをやっております。

本年、今年度はスポーツ基本法の改正案がこの前通りでしたので、スポーツする・みる・支えるそれから集まる・繋がると、5つの要素になって、より連携した区民の皆様にはスポーツの力をお伝えすることが、今後ますます必要とされてきますので、私お金とかそういう軽いものでは動きませんのでぜひしっかりと目的のある活動でしたら、全然お金関係なく、区民の皆様と交流していきたいと思っておりますので、よかったですら使ってやってください。よろしく願いいたします。

#### 【中村委員】

北区立小学校体育会会長、豊川小学校校長の中村と申します。よろしく願いいたします。小学校の悩みは暑過ぎて体育ができない。今日も水泳の学習はどうしても、昼に近ければ近いほど、熱中症指数が高くてできない。暑くてできない季節がやってくると思えなかったんですけどもそういうことがございます。

また、本校もそうなんですが、リノベーション工事がありまして、校庭が全部建築資材置き場または仮設校舎になっており、なかなか体育活動が難しい。そういう学校が幾つもございます。

皆様から教をいただきながら、子供たちの体育活動をふやして体力向上に努めて参ります。どうぞよろしく願いいたします。

#### 【守谷委員】

北区立中学校体育会を代表して参りました、十条富士見中学校校長の守谷と申します。どうぞよろしく願いいたします。

中学校の方は、部活動がですね、地域移行・地域連携ということで、今後、いろいろ、様々な形で地域や企業や、様々な形でご協力いただかなければならないんじゃないかな、というふうになるかと思っております。引き続き、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

#### 【長谷川委員】

皆様こんばんは。小学校PTA連合会会長をしております滝野川第二小学校PTA会

長の長谷川伸城と申します。

このトップアスリートのまちということで北区は充実してるかと思えますけどもスポーツというのは、もちろんトップアスリートの皆様も大事。その上で、子供たちから本当にこの先輩方多くの先輩方まで、みんなで行えるのがスポーツであるというふうに思っております。

そういう意味で北区がスポーツに力を入れるということは子供たちにとっても大きな意味があるというふうに思っておりますし、私自身もしっかりとこの小学校PTAを代表して、ここに来てさせていただいておりますので、子供たちのために、しっかりと議論参加して参りたいというふうに思っておりますので、今後ともよろしくお願いいいたします。以上です。

#### 【早川委員(代理)】

北区立中学校PTA聯合会を代表いたしまして、滝野川紅葉中学校PTA会長しております早川と申します。よろしくお願いいいたします。

中学校のPTAの立場から申し上げますとですね、結構各中学校ですね、かなり改修進めていただいている校庭がですね、かなり人工芝化ないし人工路盤化されていて非常にいわゆる雨天による中止が少ない中で活動しやすい状況にあるんですが、先ほど校長先生からございました通り、地球が暑くなりすぎてなかなか屋外活動ができなくなっているというところが、なかなか課題なのかなと思っております。その一方で、体育館で空調が入ってる中で、活動状況は担保されているというところですね、しっかり、基礎体力を向上できるようなそんなような活動はできているのかなと思っております。

先ほどスポーツ大使の方からありました、する・みる・支える、というところですね。みる・支えるのところが大事にしながらいくと、子供の力、スポーツの文化ってのは育っていくのかなと思っておりますよろしくお願いいいたします。

#### 【益川委員】

皆さんこんばんは。北区青少年委員会会長をしております益川と申します。

昨年度に引き続き参加ということでよろしくお願いしたいと思います。

北区の子供たちの健全育成ということで、できればと思っておりますよろしくお願いいいたします。

#### 【藤野委員】

こんばんは。区役所の政策経営部長をしております藤野と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

このトップアスリートのまちという言葉が北区が掲げてもう 10 年ぐらいだったか

というふうに思いますけれども。この間東京 2020 大会を挟んで、どの程度そのトップアスリートのまち北区というのが浸透してきたのかというのは、本当に私も常に気にしているところですが、やはりこの間いろんな区役所の調査を行っているんですけれども、その中で 1 つ都市イメージ調査というのを、3 年に 1 回やっています。その中でやはり北区をイメージするものというときに、これ区内だけじゃなくて、1 都 3 県の比較的若い世代に関して、イメージ調査というのをやっているんですけども。どうしてもやっぱり北区のイメージといったときには、交通の利便性ですとか、人情味ですとか、自然環境とか、どうしてもそういったところが頭にくるというところで、なかなかやっぱりスポーツというところには結びついていけないというのが現状かなというふうに思っています。やはりこうしたスポーツに関する資源が北区内たくさんある中で、やっぱりそこを少し際立たせていくためには、どうしたらいいかというところを改めて考えていかなきゃいけないかなというふうにも思っています。

どうぞ今後ともよろしく願いいたします。

#### 【中嶋委員】

皆さんこんばんは。北区のしごと連携担当室の中嶋と申します。

しごと連携担当室では今公民連携の仕組みを作るとともに、できれば皆さんと様々に取り組むようなことに関して、公民連携の窓口的な機能を担うとともに、その課題を区役所の中の入口とさせて、全庁で取り組んでいけるような体制、そういったものを作っていきたいというふうに思っております。

こうした思いを持ってこの協議会で取り扱われる例えばスポーツのイベントに関しても、我々が窓口となって、北区が一体となって全庁で取り組めるような、そういった思いで取り組みを進めて参りたいと思っております。

どうかよろしく願いいたします。

#### 【雲出委員】

皆様こんばんは。地域振興部長の雲出でございます。

地域振興部長 2 年目になりますが、スポーツに関する部長としまして、スポーツが持つ様々な可能性とか広がり、また様々な施策への課題解決に繋がる取り組みが多く含まれているなというものをすごく感じております。

今のスポーツ推進計画改定中でございますけれども、誰もがスポーツを楽しめる北区となりますよう、皆様のお力お声を聞きながら取り組んで参りたいと思いますので、本日もよろしく願いいたします。

#### 【倉林委員】

皆様こんばんは。教育委員会事務局教育振興部長倉林です。よろしくお願いいたしますます。

教育振興部では、公立の小中学校、認定こども園、図書館博物館、生涯学習を所管してございます。

本日お集まりの皆様方にも様々な教育活動にご理解ご協力いただいて、一緒に連携しながら取り組みを進めさせていただいているところでございますけれども、トップアスリートのまち北区を、学校の中でも比較的定着しつつあるように思いますけれども、また皆様方からのご意見をいただきながら、学校としての連携を進めて参りたいと考えてございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 【遠藤委員】

北区文化振興財団事務局長の遠藤と申します。よろしくお願いいたします。

ご存じの通り北とぴあ 10 階に事務局を構えておりまして、豊島 5 丁目団地の中には、ココキタですとか、それから田端文士村記念館ですとか、そういったところを所管しているものでございます。

スポーツそれから文化芸術振興、よく並べて、皆さんお使いいただくということもございまして、今回私も 2 年目になりますけれども、スポーツの皆様のお話を聞きながら、文化振興とコラボできることがないかということもちょっと検討して参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

#### 【石丸委員(代理)】

北区商店街連合会事務局、石丸と申します。会長成川の代理で本日出席させていただきます。

私事になりますが、私は 5 年前、こちらの事務局に座っておりまして、齊藤先生をはじめ大変お世話になったところでありがとうございます。

また立場が変わりまして、北区商店街連合会として、本協議会に対しまして、どのような形で協力ができるかということですね、会長ともども、事務局としても検討して参りたいと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

本日の協議につきましては、後ほど会長の成川にはしっかりとお伝えさせていただきたいと思っております。どうもありがとうございます。

#### 【太田委員】

皆さんこんばんは。東京ヴェルディで女子事業の責任者をしていきます太田と申します。まず初めに日頃より、北区の皆さんはじめ、企業の皆様、たくさんのご支援、ご声援ありがとうございます。

先日、優勝祝賀会ということでたくさんの方にお越しいただいて、ようやく北区のチームとして認知され始めているなというふうに改めてスタッフ一同実感しております。

ただ、ここからが本当にスタートだと思っております。ぜひ、引き続き、我々ができることというふうなことはたくさんあると思っておりますので、ご支援ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。本日はよろしくお願いいたします。

#### 【大竹委員】

皆さんこんばんは。総合型地域スポーツクラブ・コムスポたきのがわの大竹と申します。

いつもご支援、サポートありがとうございます。私どものパンフレットを入れてまして、資料5枚目に、三つ折りパンフレットを折っていただければパンフレットになるんですけど、入れさせてもらっております。

ご覧いただきますように、今、種目は6種目しかございません。作られては消え作られては消えというその繰り返しになっておりまして、それと今年で第7期目に入ってきております。

規模も小さいですし、種目も少ないんですが、担当しているスタッフみんな志はすごく強く思っておりますので、これからもですね、北区、地域住民のためにですね、頑張っていきたいというふうに思っております。

引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

#### 【難波委員(代理)】

NPO法人れっど★しゃっふるの理事をしております難波裕子と申します。

私自身はこのような協議会に参加させていただくのが、本日初めてですので、私どものような総合型地域スポーツクラブが、こういった協議会でどのような形で協力参加できるのか、今日は勉強させていただきたいと思っております。

よろしくお願いいたします。

#### 【田草川委員】

こんばんは。北区体育協会の田草川と申します。

体育協会は34のいろいろなスポーツの連盟団体から成る協議会でございます。

今現在一番、しっかりやっていきたいと思っておりますのは先ほど来お話が出ております部活動の地域連携です。地域展開ですかね。そちらの方で、できるだけ多くの運動の関係のですね、部活動を体育協会をサポートできたら、というふうに考えております。

今後とも教育委員会等とよく連携をとってですね、進めさせていただければと思

います。どうぞよろしくお願いいたします。

#### 【矢壁委員】

皆様、こんばんは。私、東京都障害者総合スポーツセンターの矢壁と申します。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

こちらの総合スポーツセンターはですね、障害者の専用のスポーツセンターとなっております。また障害のある人もない人も一緒にともにスポーツを楽しみましょうというような事業等も展開させていただいておりますので、ぜひ本日はですね、皆様といろんなお話をさせていただきながら、よい連携ですね、北区の中でトップアスリートのまちということで、都立施設の役割だったりとかですね、というところも一緒にお話ができればなと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

#### 【畠野委員】

こんばんは。ハイパフォーマンススポーツセンター運営部の畠野と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

北区の皆さんにはですね、日頃からトップアスリートの皆さんを温かく見守っていただきまして、どうもありがとうございます。

なかなかですね施設を見ていただく機会がないというところなんです、毎年チラシを入れさせていただいておりますが、NTCイーストの見学ツアーと今年ですね8月9日から10日、子供見学デーということでお子様が無料で見学できるという機会を設けております。こちら空きがございますのでぜひお子様、皆さんご覧いただければと思っております。

また、恒例のスポーツの日の中央記念行事も今年も10月13日に行いますので、ぜひご参加いただければと思います。

北区の皆さんと連携して、地域を盛り上げていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

#### 【越野委員】

東京商工会議所北支部会長の越野でございます。よろしくお願いいたします。

私どもの商工会議所というところは、産業人の集まりでありますけれども、その立場から、地域の活性化まちづくりに寄与したいという、そういう団体でございます。まちづくりの中であって、やはりスポーツというものの占める価値といいますか、それが本当に高まってきているとこですし、それは区民一人一人がそういう思いを高めているということなんだろうと思っております。

そういう環境の中でまちづくりが行われていけば、当然産業としても、我々が仕事もしやすい、商売のしやすい環境がでてくる、こういうことなんだろうと思っております。

この会はですね、東京オリンピックが決まってから組織されたんですよ。ですからもうなんだかんだで7年ぐらいになるんでしょうか。私も当初から出席をさせていただいておりますけれども、当初は、何か上意下達といいますか、お役所が決めたことをただ発表の場みたいな感じだったんですけども、だんだんだんだん、皆さんの中でいろんな意思の疎通が出てきたりとか、役所の方でもですね、そういうことを意識してやっていただけるようになって、名実ともにいい協議会になってきたなというふうに、僕もうれしく思っているところでございます。

ベレーザも強くなって参りましたし、それからはこの間、東京都障害者総合スポーツセンターの、去年ですね、パラリンピアントップアスリートのデモンストレーションをこの会で行事を知って行かせていただき、すごく、楽しかったし、ためになりました。そんな協議の場になっていければと思います。どうぞよろしく申し上げます。

#### 【谷塚委員】

皆さん、こんにちは。東洋大学の谷塚と申します。

今朝、ニュースを見てみたら、見たものがありましてですね、神奈川県の高校野球の予選が始まって、そこで選手宣誓をした慶応高校のキャプテンの宣誓がすごく話題になっていると。まだ見てない方はネット見ればわかると思うんですね、非常に慶応らしいというか、新しいというか斬新というか。何でそんなことを言ったんですかと聞いたら、うちがやるんだったらこのぐらいのことをやらないとねと。18歳の子が言っていました。

一方で、北区には、NTCもあるし、障害者スポーツセンターもあるし、さらには自身でトップアスリートのまちと名乗ってる以上ですね、やっぱり北区のスポーツの、北区でしかできない、北区がやるんだから、周りの自治体が、さすが北区だよねっていうような施策を、ぜひ皆さんとやっていきたいなと、僕はいつも考えております。

そんなこともあって大学の方では3年前からですね、THE NORTH TOKYO DERBY という、東洋大学とすぐお隣にある東京成徳大学の単なる男子バスケットボールの練習試合ではあるんですが、第3回目が、この日曜日に行わせていただきまして、企画運営はすべてうちのゼミの学生がやってですね、この3回目の参加者は1430人。うちの1年生が大体250人ぐらいなんですけど、今回、1200~1300人がですね、地域の方たちが来ていただいと。こういうような試みも他の大学ではあまりなくてですね。僕もいちからやり始めたんですが、北区はじめ北区の企業様、いろんな方々のご協力いただいて何とか3回目を迎えることができちゃったので、ぜひ、北区すごいねって言われるような、北区やっぱりすごいなって言われるような、スポーツのまちにしていきたいなというふうに思いますんで、これからも皆さんよろしく願いいたします。

### 【齊藤座長】

ありがとうございました。それでは議題に入って参りたいというふうに思います。次第の方を見ていただくと、今日ですね報告事項、協議事項それから、5 番目には各関係団体機関からの報告ということで、中身がありますので、これに沿って進めて参りたいと思います。

まずは、次第の 3 番目になりますが、報告事項ということで、事業報告に関して、事務局からご説明願います。

### 【事務局】

では事務局から資料 1 の令和 6～7 年度事業報告について、という資料に関して説明をさせていただきます。

前回、第 4 回協議会以降のトップアスリートのまち推進に関する主な事業について報告をさせていただきます。

まず、日テレ・東京ヴェルディベレーザ関連事業です。令和 6 年 8 月に北とぴあ 1 階で激励会を開催いたしました。WE リーグ優勝に向けて区を挙げて応援するべく、激励会を開催いたしました。当日は 100 名を超える方々にご来場いただき、応援気運を醸成いたしました。

続きまして 2 番、北区民観戦デーです。区民観戦デーを 10 月に味の素フィールド西が丘で開催いたしました。みて、スポーツを楽しむ取り組みとして、区民を中心にサッカー観戦ができる機会となり、当日は合計 2036 名の来場者を迎えることができました。

3 番です。小学校訪問交流事業です。これはベレーザの選手に小学校を訪問していただき、小学生に直接指導する機会を設ける事業で、昨年度は 12 月に桐ヶ丘郷小学校で行いました。選手から直接指導されることで、サッカーの技術はもちろん、スポーツの楽しさやチームワークなどを学ぶことができる事業となっております。

そして 4 番、祝勝会・優勝パレード・激励会です。これはベレーザが 2024-25 S OMPO WEリーグを優勝されたことに関するお祝いと新シーズンの活躍を祈念いたしまして、6 月 24 日にジェイトエルと十条銀座商店街におきまして開催をいたしましたものでございます。当日は、本協議会の委員の皆様にもご出席いただきまして、本当にありがとうございました。ご案内が直前になってしまったりして、課題もかなり多くあるということ認識しておりますので、今後に向けて、やり方など、検証していきたいと思っております。当日は選手 12 名の方にお越しいただいて、多くの区民・サポーターで盛り上げることができました。ぜひまた応援気運を盛り上げるようなイベントを行って参りたいと思っております。

続きまして次のページ、東洋大学との連携事業です。北区が包括連携協定を締結している東洋大学とトップアスリートのまち・北区を区内外へ発信するため、連携して、様々な事業を行っております。

まず、パラスイマーの田中映伍選手との交流事業です。これは東洋大学と日本パラ水泳連盟が連携協定を締結したことに伴い、実施された事業です。

未就学児がパラアスリートと触れ合うことで、多様性を学ぶことができる事業となっております。

2番が先ほど谷塚委員からもありました THE NORTH TOKYO DERBY です。これは、北区に所在する東洋大学と東京成徳大学の男子バスケットボールの交流試合となっております。こちらは北区で後援しております、今年度は一昨日開催されたということで、私も観戦をさせていただきました。本当に迫力のある選手たちの動きを目の当たりにしながら、最終的に2点差で東洋大学が勝利したという、まさに手に汗握る目が離せない試合だったということでした。個人的に、来年もすぐく楽しみだなと思っております。

3番です。東洋大学のバスケットボールアカデミーです。東洋大学女子バスケットボール部による、区内在学・在住の小中学生を対象とした教室で、北区で後援をいたしました。期間内に8回の教室を実施しまして、29名の参加者がいらっしゃいました。

4番です。「HELSPO で楽しもう！親子でエンジョイスポーツ」についてです。こちらは健康スポーツ科学部の学生が企画から運営まで手がける親子が楽しめるスポーツイベントとなっております。毎年数十名の参加者がいらっしゃるイベントで、今月もこれから開催予定があります。北区で後援しております、北区ニュースや北区ホームページなどでも周知を行っております。

続いての関連事業といたしまして、次のページです。

2024 オリンピックパラリンピック関連イベントです。

1番が出場内定選手懸垂幕掲出です。こちらは、大会出場が内定した北区ゆかりのアスリートの応援気運を高めるために、オリンピックの開催期間中に区役所の第2庁舎におきまして、懸垂幕を掲出したものとなっております。

2番がパラリンピックの壮行会です。これは北区のスポーツ大使であるパラアスリートの小川選手、澤田選手の活躍を願って、西が丘小学校で開催したものです。多くの児童や地域の方々から激励の言葉が送られ、選手たちを後押しいたしました。

3番です。敷根崇裕選手の表敬訪問です。

これはオリンピックフェンシング、男子フルーレ団体に金メダルを獲得された、北区ゆかりのアスリート敷根崇裕選手に表敬訪問をいただいたものです。表敬訪問後

帰りの際に、区役所の第 1 庁舎正面玄関付近で、来庁者であったり、職員の方に、金メダルを披露していただいて、盛り上げていただきました。

続きまして 4 番、北区区民文化奨励賞の顕彰式です。

これはオリンピックで優秀な成績をおさめた敷根選手と、後程スポーツ大使で触れます尾崎選手に区民文化奨励賞を授与したのとなっております。

続きまして次のページです。オリンピックパラリンピック報告会についてです。

こちらは稲付中学校にお示しの 4 名のアスリートにお越しいただき、報告会を行ったものとなっております。本大会に出場されたアスリートの方から、生の声をいただく貴重な機会ということになりました。

続きまして 6 番です。尾崎世梨選手へのスポーツ大使委嘱についてです。

こちらは先月 27 日に、パリオリンピックフェンシング女子サーブル団体で銅メダルを獲得された尾崎選手を新たにスポーツ大使に委嘱したものです。これで尾崎選手を含め、スポーツ大使は 6 名と 1 チームになり、トップアスリートのまち北区をさらに推進していきたいと思っております。

3 つ目の関連事業といたしまして、東京 2025 デフリンピック関連イベントについてです。

①「みんなのデフリンピック」の上映会です。

これはデフリンピックの気運醸成として、短編映画である「みんなのデフリンピック」をお示しの日程、場所において上映をし、デフリンピックのPRを行ったものとなっております。

②ろうあ卓球全国大会の開催についてです。

この大会は昨年 11 月に赤羽体育館で開催され、デフリンピック日本代表選手選考会を兼ねておりまして、男女各 1 名がこの大会で代表に内定いたしました。

本大会を北区で後援しておりまして、関係機関との連携強化を図りまして、デフリンピックの気運醸成につなげていきたいと思っております。

続きまして、次のページです。

デフリンピック体験イベントについてです。

こちらは今年の 1 月に赤羽体育館で行ったスポーツボランティア養成講座の中で、デフリンピックに関する講演会、体験会を行ったものです。スポーツボランティアの方に対して、デフアスリートの方から直接デフスポーツを指導、体験いただく大変貴重な機会となりました。

4 番、日テレ・東京ヴェルディバレーザ最終節へのブース出展です。

優勝が決まった試合、シーズンの最終節、5 月 17 日にスタジアム入口付近で、デフリンピックのPRブースを出展いたしました。

当日は雨が降っておりまして、持参したパネルすべてを展示することはできなかつたんですが、皆様にお配りしておりますこのバッチをですね、100 個以上配布いた

しまして、デフリンピックのPRを行いました。

⑤です。おちゃのこ祭祭でのデフアスリート講演会です。

おちゃのこ祭祭は、北区社会福祉協議会が主催するイベントでありまして、滝野川会館で開催をいたしました。その中のステージイベントとして、北区聴覚障害者協会と共催し、9月14日に自転車競技の早瀬久美選手。9月15日に卓球の亀澤理穂選手に講演をしていただきました。なお、亀澤選手につきましては、今回お配りしているカラーのチラシがあるんですけど、こちらデフのチラシになっているんですが、こちらのチラシに採用されている方となっております。

こういった日本を代表するデフアスリートの方々からお話をいただけたということで、多くの方にデフリンピックをアピールする機会だったかなと思っております。

報告事項としては以上でございます。

【齊藤座長】

はい。ありがとうございます。

令和6年から7年度にかけての事業報告ということでございましたが、いかがでしょうか。何か質問感想等があればお受けしたいと思っておりますが。

先ほど越野委員さんからお話がありました。この会の初期のころは、こういう報告もあまり数が多くなくてですね。すぐに終わってしまうような内容だったんですが、ここに来てかなりボリューム多くですね、やられているなという感じがしておりますが、いかがでしょうか。よろしいですかね。

ではお聞きいただいたということにしたいと思っております。

では次は、次第の4番目になりますが、今度は協議事項になりますね。

東京2025デフリンピック大会気運醸成についてということで、こちらのほうを、事務局のほうからご説明をお願いします。

【事務局】

事務局から協議事項について、ご説明をさせていただきます。

資料2の「東京2025デフリンピック関連事業等について」を使ってご説明をさせていただきます。

1番の要旨といたしまして、令和7年11月15日からデフリンピックが開催されます。デフリンピックとは、耳が聞こえない聞こえにくいアスリートのための国際スポーツ大会を指し、今年開催される東京大会は、日本初開催となっております。射撃の競技会場として、ナショナルトレーニングセンターイーストが選ばれておりまして、北区としてはデフリンピックに関する認知度の向上とデフスポーツの魅力発信を目的として、デフリンピックに関する事業を展開していきたいと思っております。

す。

大会期間は、2番、お示しの通りの11月15日から26日の12日間となっております。

3番の関連事業(案)についてです。

まず1つ目がですね、平和祈念週間におけるパネル展示、応援メッセージの募集です。北区では毎年8月上旬の約1週間を平和祈念週間と位置付けており、北とぴあを会場に平和に関する様々な催しを行っております。

この中で、デフリンピックPRパネルの展示と応援メッセージの募集を行い、いただいた応援メッセージをホームページなどで掲載することを検討しております。

2つ目が、デフリンピック開催100日前イベントの実施です。これは8月9日土曜日に赤羽体育館で行います。

このイベントでは、来場者の方に幾つかのデフスポーツを体験していただき、デフリンピックへの興味関心を喚起し、障害のある人とない人の相互理解の促進を目的として行いたいと思っております。

競技種目としては、①から④の4種目を行います。スポーツ体験の他にも、デフスポーツ紙芝居というものや、デフリンピック応援隊に就任したしづさわくん、公式マスコットのゆりーとにも会場を盛り上げてもらおうと思っております。

この資料の次のページが、そのデフリンピック100日前イベントのチラシとなっております。このチラシを区内の小中学校ですとか、障害関係部署に配布して、広く周知を行いたいと思っております。もちろんホームページ、SNSでも、周知は行っていくものです。

続きまして3つ目が次のページに行ってください、デフリンピックの報告会の開催です。こちらはまだ具体的に日時や場所が決まっているわけではないんですが、デフリンピックに出場されたデフアスリートの方をお呼びして、区民との交流を含めた報告会を開催したいと思っております。

4つ目は、デフリンピックPR動画の放映です。現在、赤羽駅北口側の高架下にある赤羽イノベーションサイト外壁ビジョンに音のないPR動画を放映します。これは5月下旬から6月にかけて放映しております、また11月の大会の時期に合わせて放映をする予定でございます。デフリンピックを意識してもらえよう、他にも放映できる場所があれば放映していきたいと思っております。

5つ目はパブリックビューイングの開催です。北区が射撃の会場となっていることから、高齢者施設などでパブリックビューイングの実施を検討していきます。

映像配信についての情報を確認しながら、いつどこでできるかを検討していきたいと思っております。デフリンピックに関連する事業としては以上です。

続きまして4のその他でございます。

(1)がヤクルト球団との連携事業です。

北区は今年1月、ヤクルト球団・北区少年野球連盟と3者連携協定を締結いたしました。ヤクルト球団は、子供たちへの野球の普及と振興などを目的として、ヤクルトベースボールアカデミーを実施しております。このたび、連携協定を締結したことにより、中央公園において、北スクールを4月から開校しております。定員充足率80%を超えており、現在人気のある事業となっております。

(2)です。今月27日に赤羽体育館でパラフェンシング全日本選手権大会が開催されます。昨年まで車椅子フェンシングという名称でしたが、国際的にパラフェンシングという名称に変更されたことに伴い、パラフェンシングという表記になっております。北区ではパラフェンシング教室を毎週金曜日に開催しておりまして、教室に参加している選手も出場することから、ご紹介をさせていただきました。

(3)です。冬季オリンピック大会気運醸成イベントについてです。

2026年2月に開催されるミラノコルティナオリンピックに向けて、区民の応援気運を高め、大会への関心を喚起することを目的としたイベントを検討しております。現在、例えば出場が内定した北区ゆかりのアスリートによる講演会や壮行会。また、区民の皆様からの応援メッセージの募集などを検討しております。雑駁ではございますが以上が、協議事項についての説明となります。

【齊藤座長】

はい。説明ありがとうございました。

皆さんいかがでしょうか何か、質問もしくはご意見等ありましたら、頂戴したいと思いますが、やっぱりオリンピックに比べると、パラはちょっと気運が、落ちてくるし、またパラよりもさらにデフってというのは、もちろん認知度が低いので、落ちてくるということなんだろうけれども。できればここにいらっしゃる皆さんの、協力というか、関係の中で、うちの団体でもこんなことができるんじゃないかというようなそういう意見も頂戴できればなというふうに考えておりますが、いかがでしょうか。

長谷川委員さん、お願いします。

【長谷川委員】

すいません、北区立小学校PTA連合会の長谷川でございます。まず、このデフリンピック、なかなか確かに認知度という部分でいうと、どうしてもオリンピック・パラリンピックより下がってしまうなど。ただ、資料等拝見すると今年100年目というか、25回目まさに100周年というそういった記念すべき大会でもあるということで、やはりこの周知をどうやってやっていくのかっていうところがポイントかな

というふうに思っているところです。ちなみに北区立小学校 PTA 联合会においては北区内に小学校 33 校あるんですけれども、この 33 校に、このチラシ等ですね PDF の形で PTA 会長経由で配信をしていくということは可能かなというふうに思っています。

やはり、子供たちも認知してもらうことも大事かと思ってるんですが、やはりまず親のところから認知をしてもらい、それで子供たちも一緒になってつなげていくみたいなことができればいいなというふうに思っています。

ちなみにこのパンフレットですけれどもこれは例えば PDF 化をさせていただいて配信をしたり、SNS に配信したいということは、理解としては、それは OK ということでしょうか。

その辺ちょっとお聞きしたいなというふうに思いました。

**【齊藤座長】**

事務局いかがですか。

**【事務局】**

このピンク色のお配りしたチラシに関しては、ちょっと東京都ろうあ連盟の方にちょっと確認させていただきまして、回答させていただければと思っております。よろしくお願いいたします。

**【長谷川委員】**

ありがとうございます。

もし可能であれば、そういう形で北区立小学校 PTA 联合会としてもしっかりと周知を徹底していきたいなという思っておりますのでよろしくお願いいたします。またぜひ子供たちにとっても、この貴重な機会かなと思うので、もちろん北区の会場、子供たちが見に行ける子もいれば、いけない子もいるのかもしれないですけれども、そういった、リアル・ライブで見ることができる子のみならずですね、例えば何らかの同時中継みたいな形で、ネット配信でも構わないですし、ケーブルテレビ等でも構わないんですけれども、何かこう平日に行われるのであれば、例えば授業の時間、ちょうど競技をやっている時間をすべての学校が視聴するみたいな、そういったことができないかなというふうに個人的に少し思ってみたりもしました。またネット配信等であればですね、保護者なんかも、例えばそのライブ配信のような形もあれば、場合によってはそれを録画でいつでも 24 時間見られるような環境があれば、昼間の時間帯、なかなか、仕事をしていて見れなかったということであったとしても、夜の時間だとか使って、土日を使って子供たちと一緒に視聴することができるなんてことができれば、またそれはそれで非常に親子の関係でも、プ

ラスになる部分というのもあるのかなというに思ったもんですから、それも含めてご検討いただけるとありがたいなというに思った次第です。  
よろしくをお願いします。

【齊藤座長】

事務局いかがですか。

【事務局】

ご意見ありがとうございます。

中継に関しましては、東京都のほうも検討したいというふうに聞いておりますので、情報出ましたら、随時皆様にご連絡させていただければというふうに思っております。以上です。

【長谷川委員】

ありがとうございます。

【齊藤座長】

ぜひ、今出た、いわゆる動画として配信するというような、そういう工夫、ここに広報でホームページとかSNS等というふうには書いてるんだけど、やっぱり文章とか、画像よりは、動画的な内容のコンテンツの方が、子供たちも見やすいですし、場合によってはうちの大学でも授業の教材になりますんで、使わせていただくこともできると思うのでぜひご検討いただければというところです。

【越野委員】

今お話のあったことにも関連しますけれども、やはり情報発信これデフに限らず、僕はもう、これ 7 年間ずっと言い続けていますけれども、やっぱり、このデフというものに関して、これを 1 つ 1 点突破してもですね、もっとちゃんとやったり、これ東京都も非常におざなりでですね、これも半年以上このパンフレットなんですよ。これ何の情報もないと言っていいぐらいで、これ見に行けるわけでも何でもありませんよこの会場ね。やりますってこと言ってるだけなんですよ。だからやっぱりね、盛り上げるっていうのは、このチラシ配っても全然盛り上がりませんから。今、先生もおっしゃられた北区立小学校 PTA 联合会の方もおっしゃったように、少なくとも北区の区民に対しては動画が配信されるとか、それから、例えばこれNHKが開会式閉会式ぐらい中継するのとか、情報が出ましたらお知らせしますもいいんですけど、大体どのぐらいの時期に情報が出るのかっていうことをまず聞いておいて、そこからどういうことをやるんだっていう計画はもうやってないと。出

てから計画して考えたんじゃ絶対間に合わないんですよ。  
今までのオリンピックなんかでも結構放送の細かいスケジュールが出てくるっていうのは遅くて、なかなか難しいんですよ。  
だからパブリックビューイングを実際にやりますなんていうのは、本当にぎりぎりにならないと、実際できないかもしれないけどもでも今までも、ワールドカップも女子のワールドカップもそうだし何もそうですし、パブリックビューイングっていうものは経験してきてるわけだから、大体どこでやればいいのか。  
どの機材があればいいのかとかってのもあるし、そしたら集客はどうすればいいのかとかってできるし、スケジュールが出てから何かをやるっていうのではだめだというふうに僕は思いますね。  
それと同時に、他の情報発信の方も、今パッと見て、これ、QRコードやってみて、インスタグラムを見たんだけど、やっぱりこれも、やっぱり本当に、確かに何となく小ざれいにこうなってるんだけど、でもそれ以上我々入っていけないんですよ。射撃の競技のがどうのこうのって書いてあるんだけど。面白そうだな、どうすればそれ見れるんだろう。何もわからない。  
やっぱそういうことをもっと積極的に、東京都なんかにも、もしくは、これはあれですかね。もう少し国レベルも何かやってるのかな。ちょっとそれもよくわからないんだけど、そういうところにやっぱり投げかけて、情報を引っ張り出すってことは大事なんじゃないかな。  
だから、北区体育協会なんかも、その体育協会レベルの中でそういうのをくれっていうふうにね、僕は副会長だから、あえて田草川さんもいらっしゃるので言ってるけども、そういうことを言って、体協レベルでも引っ張り出すし。それから何かそういう、学校の方でも引っ張り出すとか、みんなでそれをやって、またそれを情報を持ち寄ってやるっていうのが大事じゃないかなというふうに思います。

【齊藤座長】

はい。ありがとうございます。  
他いかがですか。

【田草川委員】

副会長に促されまして、しっかりお話させていただきます。前にお聞きしたら、射撃の会場が近くにあるっていうんですけども、ただ射撃は観戦できないって聞いたんですけどそれは間違いないんですか。  
これこのチラシ、今おっしゃるとおりで前もいただいているいろいろ配ってるんですが、次の行動になかなか結びつきにくいんですね。  
なので、できるだけ情報をいただければと思います。

体協として10月に区民体育大会の開会式がありますので、もしそのときに何か展示もできたり、それから、配布するものがあれば配布したりとか、何か受けた方が見に行こうとか、何か協力しようというような、具体的な行為に繋がるような情報をいただければ、できるだけ対応したいと思ってますのでよろしくお願いいたします。

【齊藤座長】

はい。ありがとうございます。  
どうぞ。

【石丸委員(代理)】

商店街連合会事務局、石丸と申します。

8月9日のデフリンピック100日前イベントのチラシなんですけども。明後日の10日の14時から、私どもの会長会という会議がありますので、もしこちらの資料をですね80部ご用意いただければ、その会長会で配布します。また職員さん出席していただければ、何分か、ちょっと時間を設けますので、ご説明いただければと思います。

さらに本番に向けて、本番は11月からということなんですけども。8月は会長会がお盆で休みになっちゃいますので、9月10月とまた会長会は、第2木曜日の14時からございますので、もし、周知するというのであればですねお声掛けいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

【齊藤座長】

はい。ありがとうございます。  
他いかがでしょうか。

【守谷委員】

中学校体育会の守谷です。

学校の方には、このデフリンピック観戦について、東京都のほうから周知が来ております。本校は、逆にいい機会だと。多分子供たちはデフリンピック全く知らないと思いますので、その知らないことを知る、とてもいい機会じゃないかなと思ってそれをさらに、実際に見に行くところまで、そんなにたくさんの時間はちょっと取れないですけども、事前の学習をして、デフリンピックを見て、またそれを何かにつなげていけたらなというふうに考えていますので、ちょっと全校的な動きではないですけども、そういったいい機会にしていきたいなど。

で、もしこういった連動するイベント等あれば、ぜひ、そういった機会は、うまくつ

なげていきたいなと思いますので、そういった情報も教えていただければと思いますよろしくお願いします。

以上です。

【齊藤座長】

はい。ありがとうございます。

【中村委員】

小学校体育会の中村でございます。

今、守谷先生からお話がありましたように、観戦の連絡というのは小学校のほうも受けております。ただやっぱり小学生が会場まで移動するというのは、年齢的には厳しいものがあります。

また 2020 のときに、現場での観戦をした学校もあるんですけども、なかなか北区は会場に遠かったこともあって、渋谷区とか、そういう近くの目黒区とかは動員かかったようですけれども、そういう機会がちょっとなかったのは、難しかったっていうのは私どもの反省ではあります。

ただ今回いろいろ皆様からご提案があったように、オンラインであったり、また動画の配信終わってからも結構ですので、そういうのご案内をいただければ、そちらが一番その学校の中で、先生たちが説明をしながら、見せることができるということで、非常にそういう機会があればありがたいと思います。

特に小学生はわかるスポーツとわからないスポーツやっぱり、年齢的にありますので、例えば、陸上であったり、バスケットであったり、バレーボールとかそういう子供たちにもわかるようなもの、そういうご提案があった場合には、ぜひ情報を流していただければ、校長会の方でも周知いたしますし、体育の会議もございますので、都度ご案内ができると思いますのでぜひ教えていただければと思います。

よろしくお願いします。

【齊藤座長】

はい。ありがとうございます。

他いかがでしょうか。

はい、お願いいたします。

【矢壁委員】

東京都障害者総合スポーツセンターの矢壁です。

パラリンピックに関連してっていうところで当センターは障害者のスポーツセンターというところがございますので、デフリンピックに関連した事業というかですね

取り組みをさせていただいております。

今後ですね 9 月 7 日にですね、当センターでスポーツ祭というものを毎年開催させていただいております、先ほどご挨拶のところ、越野会長様からもお話がありました通り、スポーツ祭ですねデフリンピックに特化したわけではないんですけども、デフリンピックの応援という気運上昇というところでもですねテーマに掲げさせていただいて、今年度開催予定となっております。

ですのでぜひその日にですね、小学校とか中学校の子供たちとかですね、参加できるというかですね、来ていただけますので、ぜひ来ていただいて、デフリンピックだけではなくてですねパラリンピック、障害者スポーツというところも触れていただける良い機会になるのかなと思いますので、ぜひそういった私どものイベントとかでもフル活用していただければと思っておりますので、ご紹介というかですね営業になってしまいますがご承知いただければと思います。

よろしくお願いいたします。以上です。

#### 【齊藤座長】

はい。ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。よろしいですか。

やっぱり、気運醸成とか盛り上がるのは、体験会だけではなくてですねやっぱり物を見るということが一番重要で、逆に子供たちにとっては、デフの大会とかデフリンピックで日本人が金メダル取る瞬間が一番記憶に残る出来事だと思うので、そこにどれだけアクセスが可能なのかっていうね、その情報をやっぱり事務局で掴んでいただいて、ただ私も不勉強でデフリンピック自体がどのくらい、観客動員があるかどうかってのわからないもんですから、たくさん観客が集まるのであれば、なかなか行くこともできないでしょうし、むしろあとはスカスカであれば、デフ陸上だったら大会比較的行くスカスカで、私なんか見たりしてしてたんですけども、いずれもその辺の情報も含めて、掴んでいただいて、お話いただければというふうに思いますのでよろしくお願いいたします。

では次の議題に入って参りますが、次は 5 番目になりまして、各団体機関からの報告という形になります。

これはチラシの順番という形になりますか。どうでしょうか。どちらからでも結構ですので、多分、もし報告があれば、お手を挙げていただければと思いますがいかがでしょうか。

#### 【大竹委員】

すいません先ほど紹介のときにも申し上げたんですが、コミスポたきのがわの三

つ折りチラシ、こちらに挟んでいただいております。

裏面の方になるんですけれども、体を動かしたい人、気軽に集まれコミスポたきのがわという 6 種目ございます。老若男女、いろんな方がご参加しておりますので、主に滝野川地区へ参加になっておりますが、一応この後、種目も1, 2種目増える予定にはなっておりますけれども、リニューアルいたしましたら、ぜひホームページのほうもご覧いただければというふうに思います。

以上でございます。

【齊藤座長】

はい。ありがとうございます。

他いかがでしょうか。チラシだけではなくてせっかくですから、チラシお出しいただいたところは、ご説明をいただければと思います。いかがでしょうか。

【畠野委員】

先ほども冒頭にNTCイースト見学ツアーの件をお話しをさせていたがきましたが、ぜひ機会があればよろしくお願いします。

【齊藤座長】

はい。ありがとうございます。

他はどうでしょうか。特にありませんか。よろしいですか。

【太田委員】

すいません東京ヴェルディの太田です。

先ほど祝賀会のところで触れさせていただきましたが、いよいよ、我々のシーズンの方ですね、8 月から、またシーズンがスタートするような形です。本日ちょっと資料、まだご準備できてなかったのも、また改めて事務局さんの方から、皆さんにご案内させていただきますが、通常のシーズンとは別にですね、今回優勝させていただいた形もあって、今度アジアの大会の方にも、日本の代表として参加させていただく予定となっております。

またこちらの方も含めてスポーツ推進課さんとも連携させていただきながら、またいろいろ、取り組み等もさせていただきたいなと思っておりますので、引き続き皆さんどうぞよろしくお願いいたします。

【齊藤座長】

他、いかがでしょうか。

どんなささいなことっていう細かいことでも結構ですので何か情報があれば、お出しただければと思います。

#### 【宇山委員】

ちょっと今日資料まだ間に合っていないんですけども私、それから企業さんと協力しながら、フェンシングですね、今回のスポーツ大使に新たに加えていただいた尾崎選手もおりますし、それから表敬訪問した敷根選手も扱っていただきました、非常にフェンシングの選手この辺りいるんですが、おそらく皆さんですね、フェンシングの体験会やろうと思ったとき、やり方もわからないし、ちょっと危なそうだなあとか敷居が高いとかですねそういう障害が、おそらくイメージされると思うんですけどもそういったハードルを解消したですね、スポンジ状の剣で、しかもデジタルの通信技術を使ってどっちが先にタッチしたかっていうのわかるような、そういう体験ツールを今開発していただいて、パッケージとしていろいろ展開をしております。

すでにスポーツ推進課さんの方には、ちょっとご紹介させていただいてるんですけども、ちょっとこの後調整しまして、皆様方に、PDFとかそういったツールっていうものを情報流させていただきますので、学校とかで使いたいとか商店街のイベントでやりたいとか、もう 12 万人ぐらいですねそのツールを、国内外で体験していただいていますので、ご興味がありましたらご一報ください。よろしく願います。

#### 【齊藤座長】

よろしいですか。

はい。では、すいません。最後に手前味噌のようですが、東洋大学からも、私も健康スポーツ科学部という学部でして、優秀なアスリートをたくさん抱えております。東洋大学というと駅伝であるとか、アイスホッケーとか相撲とか野球も含めて、強いんですが、実はその赤羽のキャンパスには、ちょっと変わったスポーツをやって、それで世界的な学生なんかもおります。ムエタイってご存じですか。実はムエタイの女子の世界チャンピオンがうちにいたりとかですね。

あとはカバディってご存じですかね。カバディの全日本の候補選手がうちの 2 年生にいてですね。今本人がサークルを作って、何とか東洋大学を大学では日本一にしたいということで頑張ってます。

2036 年のオリンピックにインドが立候補していますけども、インドが開催地になるとおそらくカバディが正式種目になり、うちからオリンピックが出てくるのかなというふうに考えてます。

実は赤羽にはサッカー部の学生はいない、ほとんどいないんですけども、東洋大、

今天皇杯サッカーで、この間、J1の2位の柏レイソルに2対0で勝ちまして、次7月16日にですね、アルビレックス新潟と新潟で試合があります。

東洋からバス7台か8台くらい連ねて東洋としては大応援団で行くつもりでいるんですけども、BSで放送されるようですので、地元にある大学ですとぜひご覧いただければというふうに思います。

天皇杯で優勝した大学って早稲田大学だけですね。試合ごとに勝った大学はたくさんあるんですけども、決勝までいったこと早稲田だけなんで。うちとしてはそこまで行ってくれればいいかなというふうに考えております。

ぜひ応援もよろしく願いいたします。

すいません手前味噌で。

では各関係団体からの報告はこれまでということで、何か質問よろしいですかね。

では、次のその他に参りますその他事務局のほうからご説明お願いします。

#### 【事務局】

いつものスポーツ事業にご理解ご協力いただきありがとうございます。私はスポーツ推進課長の滝澤と申します。

私のほうから最後に、冒頭に宇山大使からもご発言ありましたがスポーツ基本法というものが改正され地方においてですね、スポーツ基本法を参酌して、地方の実情に即したスポーツ推進に関する計画を定めるように努めるものとされております。こちらの方ですね今、ちょうど現行計画に代わるものとして、改定作業を令和6年度からしております、6年7年と2カ年にかけて今、検討委員会が設置されております、現時点で第4回まで終了したところです。全8回となりますので折り返し地点に来たところでございます。

昨年度のですね、前回の検討経過をポイントを絞ってご説明させていただいたんですけども、今回もですね、北区のスポーツ施策進めていく上での基本となる計画でございますので、簡単にですね本当にポイントだけ抜粋させていただきましてご説明をさせていただきたいと思っております。

資料といたしましては、A4横になっているホッチキスどめの資料、こちらが要点のまとめの資料。

続きましてですね、A3横でですねホッチキスどめになってます北区スポーツ推進計画施策体系図案。右端に資料4となっております。

こちらが改定予定ですね、令和8年3月に策定予定ですがこの改定予定の施策体系図の案が1枚目に載っております。

そして、その裏面から最後までは、現行のですね、現在の計画の方を参考に、重点施策等、事業名等載せさせていただいております。2枚目以降は後程ご覧いただ

ければと存じます。

一番最後につけさせていただきましたA3 横の施策体系図と書いてございます、右端に第3章計画の理念基本目標と書いてございます。これが現行計画の施策体系図となっております。

後程ご説明させていただく予定のホッチキスどめの施策体系図と新しいものと比較を見ていただければ、少しわかりやすいかと思ひまして、つけさせていただきましたので、ご覧いただければと存じます。

現行計画のA3 縦1枚の施策体系図左端に書いてある課題、スポーツ施策に関する課題につきましては、新しい施策体系図の案の方にはスペースの関係上、省いて載せてございますのでご了承いただければと思ひます。

それでは説明に入らせていただきます。

まずですね、A4 横のホッチキスどめで件名が東京都北区スポーツ推進計画第1章～第3章要件のまとめというタイトルになってございます。こちらの方、簡単に説明させていただきます。

まず、ページをおめくりいただきまして5分の1ページとなっております。こちらの計画の位置付けでございます。まず、右の方の枠の中見ていただきたいと思ひます。一番右側ですが上の方に、北区と書いてあってその下にスポーツ推進計画の上位計画となっております3つの計画・構想等が書いてございます。そして、枠の中の左側、北区スポーツ推進計画となっております。その右枠の中に主な関連計画等ということで書いてございます。この赤字になっている計画が新しく北区のほうで計画として改定されてる内容とか新しくできた計画等が入ってる計画でございます。一応そういった形になってございます。

真ん中の方に国と東京都のスポーツ局等の計画が書いてございまして、一番初めに、左側の枠、黄色い枠の中に書いてございますがポイントとしてはですね、上位計画でございます、北区公共施設等総合管理計画、これは施設全体のほうの計画の根本となる計画でございます。あとはですね、北区立中学校部活動地域展開等推進計画、こちらの計画などですね関連計画、追加して反映をできるものはしている今回新しい計画になります。

また関係課とですね、整合性を図ってですねこの関係する計画等の施策展開を、今回のスポーツ推進計画の方で反映できるものは反映していくというような位置付けになってございます。

続きまして5分の2ページ、ご覧いただきたいと思ひます。

大きなポイントとして、新たなスポーツの推進というところでですね、北区のこれからのスポーツ推進の中で目指すべき姿にですねアーバンスポーツとeスポーツというものの記述を改定の内容で追加をしております。

2つのスポーツですがこの取り巻く現況について、計画の中で説明をさせていた

だきまして、北区として実施していく推進の方向性を明記していく予定でございます。

2 つ目の黒点でございますが、特に e スポーツについてはコラムなども活用いたしまして、事業対象として扱う旨を記載する予定でございます。

また、今回の北区スポーツ推進計画の改定の内容で取り組むべき分野を記載する予定でございます。

下の括弧内に書いてありますが様々な理由でスポーツを行うことが困難な方々の健康増進をしていく、また世代間を超えたコミュニケーションや繋がりの創出というところを明記をしていく予定でございます。

続きまして、5 分の 3 ページ目をご覧ください。

施設の関係の取り組みとして、今回区立スポーツ施設等について、前回の計画よりはボリュームをもう少しですね、出しましてスポーツ施設をどうしていくかというところを少し具体的に載せさせていただく予定でございます。

ポイントとして 3 つございまして、上から①区内のスポーツ施設及び学校等地区体育館となっている体育施設のマップを追加いたしまして、北区全体のスポーツを実施できる施設の配置状況を俯瞰できるよう可視化をしていく予定でございます。

続きまして②として目指すべき姿の施設環境についての取り組みを追加して記載していく予定でございます。維持保全上の課題にも触れまして施設の長寿命化や計画的な改築、改修等を検討する旨を明記していく予定でございます。

そして③で区立スポーツ施設の利用者数の数値目標を追加していく予定でございます。今まで、こちらの項目は目標とはしていなかったんですけども、今回は、様々なストックやプログラムも拡充するなど、さらなるサービスの向上を図る、区立スポーツを施設の目標利用者数を目指すことで、しっかりと推進をしていくということでこういった項目を追加する予定でございます。

続きまして 4 番となります。基本理念となります。

A3 縦 1 枚の現行の施策体系図にも黄色い枠の中に白地で基本理念を書いてございます。現行計画の理念が「スポーツで創る地域のきずな スポーツを楽しめるまち北区」、今回の基本理念は検討委員の皆様の議論の中で決められたものが①というところで進めさせていただいております。

「北区あなたのスタジアム、だれもが主役になれる瞬間がここに」、また副題として「スポーツをもっと身近にスポーツに関わるすべての瞬間で誰もが輝けるまちへ」ということになっております。また②基本理念に込めた思いですが、1 つ目の、区民一人一人がいつでもどこでもだれとでもいつもいつまでもスポーツを楽しめるまちという現行計画の推進を検証します。

また、2 つ目の点でスポーツをするみる支える人が集い、スポーツを楽しむ場の創出を通じて誰もが主役として、輝ける地域社会の実現を目指す。というものが思い

ということで載せさせていただきます。

続きまして最後のページでございます。東京都北区スポーツ推進計画 施策体系図(案)をご参照ください。こちらのホッチキスどめのスポーツ施策体系図案の A3 横の資料 4 と書いてあるものでご説明をさせていただきます。

まず、この一番左端に基本理念が書いてございます。赤字の部分が追加または変更していく内容となっております。基本目標に関しましては、2にパラスポーツを楽しめる環境づくりというものを追加させていただく予定でございます。

また 3 につきましてにぎわい交流等による地域スポーツの活性化と体制づくりということで、追加してございます。

4 番ですよ。多様なニーズに即したスポーツ施設の環境づくりというところで、こちらの赤字を追加させていただいております。基本理念基本目標、右側に行きまして、それに沿って流れるように施策の方向を重点施策、具体的な事業件名、またどこが担当課になるか、あと事業件名ということで、左から右に展開していくような施策の流れで実施をしていく予定でございます。

ちょっと全部ご説明しますとですね、時間の関係もございまして、ちょっとポイントとなるとただけご説明をさせていただきたいと思っております。

まず施策の方向の(4)で幅広い世代を対象としたスポーツの推進ということで、その右に重点施策っていただきますと③新たなスポーツを活用した運動習慣の形成ということで、次の事業件名に検討中となっておりますが、アーバンスポーツの方、こちら新しい事業件名として、記載をして推進をさせていただく予定でございます。

またですね、施策の方法、パラスポーツを楽しめる環境とか2のですね、施策の方法の右側でございます。障害者スポーツの活動への参加促進。2で障害の有無にかかわらずスポーツ推進と理解の促進という、こちらの方もですね、新たにパラスポーツを楽しめる環境づくりということで、あえて、新しく載せさせていただいております。

続きましてですね、一番最後なんですけど、4 の基本目標で、多様なニーズに即したスポーツ施策の環境づくりということで、施策の方向、(2)の多様なニーズ、安全安心に対応した政策や環境の整備ということで、スポーツ施設の重点施策で利便性向上ということで、その横にいただきますと新で検討中ということになってございます。デジタルを活用した施設予約システムの機能拡充ということで、来年度から新しい施設予約システムが導入されますので、その機能をフル活用して、デジタル活用というところもフォーカスをして推進していく予定でございます。私からの説明は以上でございます。

【齊藤座長】

はい。ありがとうございました。

新しく立てられるスポーツ推進計画の概要というか、かいつまんでのお話しでした。質問、何かございますでしょうか。

【越野委員】

これに関しては、ものすごく大変な作業で、すごいな、素晴らしいなっていう方が多いですし、それから、いろんな方の議論がお持ちだと思いますけど、1点だけ、ちょっと私どもの立場として検証いたします。

スポーツ指導者のスポーツを支える人材の育成と活躍、そして、スポーツ指導者の育成と資質向上とかっていうところに、大学との連携っていうのが入ってるんですけど、どこでももちろんそうなんですけど、これ、企業との連携っていうのも、ぜひ入れていただいたらいいんじゃないかなという気がするんですね。

部活動の指導なんかでもですね。もう最初から企業そんな働いてる時間が何だって諦めないで、今働き方っていろいろになってるんだよね。例えば、普通に女性の活用っていうあれからしても、例えば6時間で働く正社員さんもいたりとか、そういうふうになってるわけだからこれ、女性の活用はそういう、そんな感じでやりますけど。男性だってもちろん同じだし、それをスポーツっていう場所に置き換えると、じゃあ3時まで勤務いいですよと、それでそのあとは地域のスポーツに貢献してください、とかっていうような働き方がこれ出てきますよ。これからこの推進計画の年限であって、それが例えばそういうことの促進策として、そういうことで企業が給料を別に下げるんじゃないくて、一般のあれと同じように出してるんだったら税額控除しますよとかね、いや、北区役所の政策にもなるかもしれないし東京都の政策にもなるかもしれない。そういうふうにして区民とか、そういうだけじゃなくて、僕も区民の一人ですけども、企業って昼間人口をもっと活用するようなことを考えるべきだというのが1点、それから同じ企業ベースの話として、最近本当に僕もずっと野球やってた人間ですけども、プロ野球のOBとか、そういう方が、野球塾みたいな作ったりとか、そういう、プロとアマチュアの垣根っていうものが低くなっていて、それから、要するにそれをビジネスにされていく。さっきの宇山さんのご発言も、ちょっとそれに関連すると思うんですけど。つまり、スポーツをビジネスにしていくっていうことの幅がすごく広がってるわけですよ。だから、そういうものも実は北区スポーツ推進の1つであって、そういう企業を育成していくとかね、例えば、あそこの河川敷の陸上競技場兼ラグビー場ができたんだけど、ラグビーなかなか要するにボールが飛んでいっちゃって使えてないと、非常に稼働率が低いですよ。

例えば野球の塾なんていうのは、ちっちゃなこんなビルの1室でやってるわけですよ。

よ。練習だけだったらティーバッティングだとか、小学生のピッチングだとかっていったら、あの真ん中でやったらものすごく伸び伸びできますよ。だからそういうのに積極的に貸し出していく。これ、さらなる活用っていうふうになると思うんだけど、いずれにしてもそういう、そのスポーツビジネスっていうものとの接点っていうものを多く持っていくっていうことが、これからのスポーツ推進計画の、僕はある意味肝になってくると思いますよ。

谷塚先生のところで勉強してる学生がいっぱいいますから、谷塚先生に引き取っていただいてご発言いただきますけどもよろしくお願いします。

### 【谷塚委員】

そうですね、今第三期のスポーツ基本計画が出ていて、その大元になってるのが、いわゆるスポーツ基本法になってると思うんですね。で、結局スポーツ基本法の中で私たちにはスポーツ権があるというようなことが明記された一方で、それを提供する側、国とか地方自治体、さらにはスポーツ団体含め、我々のスポーツ権をこれからずっと保障していかなきゃいけない。

今までは、学校体育・部活動という、ある種公的な機関が子供たちのスポーツを提供してくれてたので、ある意味半永久的に続くだろうと思っていたスポーツ環境が、あれよというまに、そもそも法律違反みたいなものも含めてですね、今崩れ去ってきた中で、皆さんの言葉に出てくるような、いわゆる部活動の外部移行、ただ現実どこの全国を見てもですね、正直あんまりうまくいってるところも出てきていない。問題はお金どうするのというところ。そこがですね、うまくいってないので、多分どっかの経営がパッと出てきてパッと、何か新しいことをやったとしても、なかなか続かないっていうのが現状ですから、サステナブルの方向の中で、しっかりとスポーツでお金を稼いで、言うならばそれが我々のスポーツ権をしっかりと続けていく、子供たちのスポーツをする環境をしっかりと続けていくためには、やはり、お金っていうものは欠かせませんので、また僕もいろいろ北区の関連で、いろんなところに関わらせていただくんですけど、僕思うに北区はすごくその辺は前向きで北区の予算をスポーツのことにつけていただいたりとか、非常に前向きな区なんだなと思いつつですね。ただ一方でどこかで、いい意味で、突き放してですね、自分たちで稼いでこい、逆に自分たちで稼ぐために、区のほうで何らかの措置をすることかですね先ほどあったような何らかの税制優遇をすることか、寄付金の税制控除することか、何か寄付の制度を作るとか、この前お話を聞いたらそういう制度もあるとは聞きます。丸抱え、当然これもいいことなんですが、一方で、育てていくお金を稼いでしっかりと自分たちで維持継続できるような、団体なり、スポーツ関連者を作ってくっていうのは、これからの部活動の外部移行も含めた、いわゆる地域スポーツにおいては一番重要なところになっていくのかなというふうに思います。

当然、北区の企業さんたくさんいらっしゃるんですね。ただお金くださいと言ってもくれないんですけども、きっちりと、何で必要なんだということを、ご説明をすればですね。やはりご協力いただける企業もたくさんあります。

これもまた自分のことなんですけど NORTH TOKYO DERBY って多分規模感的に多分 200 万ぐらいかかってます。それ全部、企業さんが出していただいて、恥ずかしいんですけど大学が出してるお金はほとんどないです。僕はスポーツビジネスが専門なので、ハナから大学のお金を頼る気は全くなかったんで、もう越野さんはじめ、北区の企業さんに説明をしたらですねやっぱりご理解いただける企業さんいっぱいいますので、しっかりと我々スポーツ側も自分たちで稼ぐんだっていう気持ちの中で、対自治体もそうですし、対企業もそうですし、しっかりと考えた中で物事を進めていけば非常にいいものができるんじゃないのかなというふうに思いますので、しっかりと皆さん、スポーツでお金を稼いでいってですね、サステナブルなスポーツ環境がつかれるようにしていければなというふうに個人的にも思いますのでよろしくお願いします。

#### 【越野委員】

すごくわかりやすくまとめていたんですけど、僕も言いたかったのは、持続するにはお金をまわしていかないと持続しないわけですよ。やっぱりその、今までは役所主導ってのはこの税金っていうことの中でもって回るっていう状況があったんだけど、もちろんそれは、ある部分では続くと思いますけれども地域でお金をまわしてやっていけることは、できるだけそれでやろうよ。そのことによって、もっとそこがやりにくいような場所にお金を投下していくっていうふうに、自治体も多分なるんだろうと思うんで。だから、そうすると自治体が考える推進計画にも、その企業っていうものだったりスポーツを経営していくっていうことだったり、もしくはアスリートの受け皿も、会社を作るとしていくとかっていう、そういう全体のことを支える部分のところが、何かここに出てくるっていうのが、これから先の 10 年っていうところの推進計画になるんじゃないかなっていうのが、私の言いたかったところでございます、谷塚先生ありがとうございます。

#### 【谷塚委員】

ついでにもう 1 つだけこれから地域のスポーツクラブっていうところが多分中心にいわゆる学校体育・部活動ができない状況の中で、これから地域でスポーツをやらなきゃいけない。だから総合型地域スポーツクラブみたいなものが 25 年前からできてるんですけど、ご存じだと思うんですけど、これを参考にしてるのはヨーロッパであり、ドイツであったり、皆さんご存じですかね。ドイツのスポーツクラブは、すべて自分たちで稼いでるかということとそんなことはなくて、国や州や自治体が

らのいわゆる補助金、助成金っていうのが、大体約 5 億ユーロ掛ける 160、まあまあ額の、実は補助金、助成金もらってるんです。だから、今、僕なんかが言うスポーツ団体稼がなきゃだめだよってということにおいては実はその我々の日本の今のスポーツ環境が目指すドイツであっても、補助金、助成金もらってます 5 億ユーロ掛ける 160~170。結構な額もらってます。ただし、その地域スポーツ市場の中から毎年 8 億 2000 万ユーロの税収が上がってるんです、税収が。要は国や州や自治体は、地域スポーツに投資をすれば、3 億 2000 万ユーロ儲かっているんです。だから来年もたくさんお金出してくれるんです。税収が上がるってことは各スポーツクラブが経営努力をする中で、きちんと税金を納めてるっていう。こういうようなことがいわゆるサステナブルというのではないのかなと。

日本でも総合型地域スポーツクラブ例えばtotoの助成金これは税金ではないですけど、ある種補助金的なものももらってますが僕も総合型地域スポーツクラブずっと関わってますけど、残念ながら税収が上がってるかという点です、なかなか上がってないのが現状で、現実的にはスポーツ振興くじのお金もいろいろと削られてるといえる、他のものに、やっぱりなかなか、国も、企業もそうですけど、投資したのに対して、リターンがちゃんと見えないと、いざというときにはもう無理です。よって、これがいわゆるサステナブルではないってことになりますので、さっき僕、冒頭言いましたけど、さすが北区だよっていうふうに言われるときには、例えばさっきの事例じゃないですけど、北区のスポーツクラブ・スポーツ団体から実はこれだけ税収が上がってるんだよ、それが還元されて子供たち、もしくは高齢者、働く人たちのスポーツ環境を自分たちで作ってるんだよみたいな、そういうような、区のスポーツ振興っていうものができればいいんじゃないのかなと個人的にも思いますので、何かあれば僕もぜひお手伝いしたいなというふうに思いますので、今後ともぜひよろしくお願ひします。

#### 【齊藤座長】

という意味も込めた計画を作りましょう。

前から言ってますけれども、この中学校の部活の地域移行ってスポーツにとっては、ピンチでありチャンスでもある、ですねやり方によってはね。もう、国はよくも先生方がボランティアでやっていた部活を地域にポンと投げたなと思うんですけども。そもそもボランティアですので、先生方ほとんど。これ地域の中でボランティアでやるかっていうと、なかなか難しいとなってくると今言ったような、お金とかが必要になってくるんですが。そういう意味では地元の企業さん等々含めてそのプラットフォーム形成の観点からいくと、北区はものすごいポテンシャル持っていると思うんですね。ですのでそういうものも含めて、計画を考えながら、私もこれに関わってるんですけども、実は、やっとな中学校の部活移行という文

言を計画に入れてもらったというような、そこで終わってしまってますので、その辺を考えながらやっていきたいなというふうに考えております。

他、何かございますか。

【下山副座長】

先ほどデフリンピックのお話聞いてて、北自連としてですね、いろいろ会合の中で、ほとんど、認知度が上がってないというのが実情なんですよ。いろいろ聞いてても、これにデフリンピックって議論はほとんどの地域を代表する皆さん方の意見なので、これからその会議の中で、区民の皆さんにこのデフリンピックをもっと知ってもらえるようにお願いをして、これから盛り上げていこうかなと思ってますんで。もしできればスポーツ推進課の皆さん、北自連の会合に来ていただいて、もっともっとPRしていただければいいかなと思ってます。

あともう 1 つは、自分の家にはJCOM見られるチャンネルがあるんで先ほどお話があった通り、JCOMでライブ放送していただければ、ゆっくり見られるんで、その点も、強かに押ししていただければなと思ってますので、お願いします。

【齊藤座長】

ありがとうございます。

では全体を通じまして何かありましたらお受けいたしますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

では、事務局何か連絡ございますか。

【事務局】

特にございません。

【齊藤座長】

そうですか。

それでは、以上をもちまして第 5 回トップアスリートのまち北区推進協議会を終了いたします。ご協力ありがとうございました。